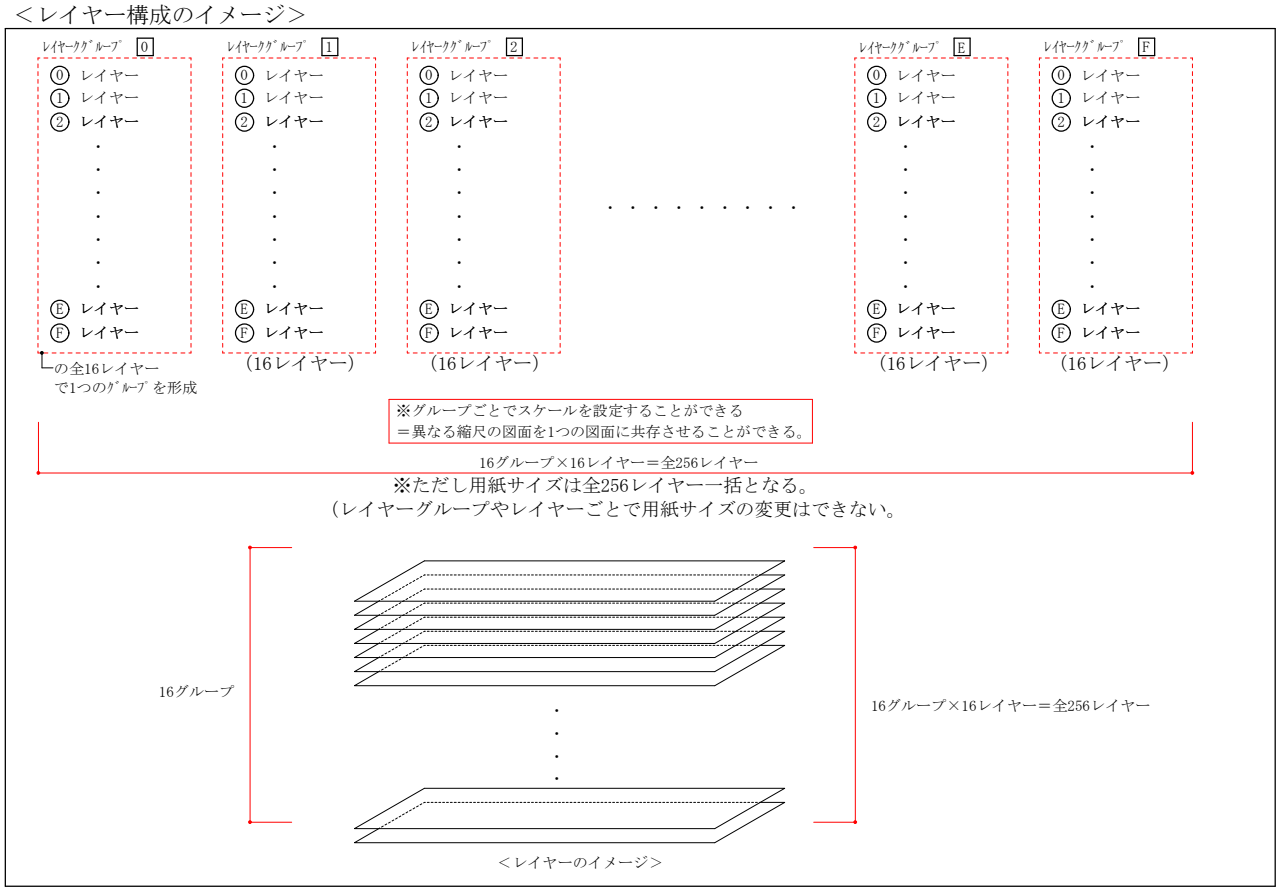
□JW-CAD　レイヤーとレイヤーグループについて

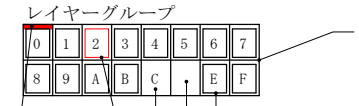
＜JW-CAD　レイヤーグループ・レイヤーの考え方＞

JW-CADはレイヤーグループが0～Fまでの16グループあり、それぞれのグループは0～Fまでの16レイヤーによって構成されている。

＜レイヤー構成のイメージ＞




＜JW-CAD　レイヤーグループ・レイヤーのツールバーの見方、切り替え方について＞




数字の廻りが四角で囲われているものがレイヤーグループのツールバー

四角が黒表示されている状態は「表示」（編集可能）

文字が消えている状態は「非表示」

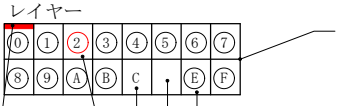
周囲の四角が消えている状態は「仮表示」（ｸﾞﾚｰ表示）。編集できないが、端点や交点はスナップできる。

選択されている（書き込もうとしている）レイヤーグループは数字の廻りが赤い四角で囲われる。

レイヤーグループの中のどれかのレイヤーにデータが書き込まれると上部に赤い表示が出る。
（そのグループの中に書きこまれたデータがあることがわかる）

※レイヤーグループの「表示」「仮表示」「非表示」の切り替えは文字部分をマウスの左クリックをすることで選択できる。
（1つのグループ全体の表示・仮表示・非表示の切り替えとなる）

※レイヤーグループの書きこみの選定は文字部分を右クリックすることで選ぶことができる。




数字の廻りが○で囲われているものがレイヤーのツールバー

○が黒表示されている状態は「表示」（編集可能）

文字が消えている状態は「非表示」

文字周囲の○が消えている状態は「仮表示」（ｸﾞﾚｰ表示）。編集できないが、端点や交点はスナップできる。

選択されている（書き込もうとしている）レイヤーは数字の廻りが赤い○で囲われる

レイヤーにデータが書き込まれると上部に赤い表示が出る。
（そのレイヤーの中に書きこまれたデータがあることがわかる）

※レイヤーの「表示」「仮表示」「非表示」の切り替えは文字部分をマウスの左クリックをすることで選択できる。
（レイヤー単体の表示・仮表示・非表示の切り替えとなる）

※レイヤーの書きこみの選定は文字部分を右クリックすることで選ぶことができる。